

令和4年度(2022年度)  
目黒区当初予算案 プレス発表資料

新たな基本計画に基づき、  
目黒の未来を創るための第一歩となる予算

令和4年2月1日

～ さくら咲き 心地よいまち ずっと めぐる ～  
目黒区

# 令和4年度目黒区予算案の概要

## 1 基本的考え方

令和4年度予算は

### 「新たな基本計画に基づき、目黒の未来を創るための第一歩となる予算」

と位置づけ、次の点を基本に編成しました。

- 1 引き続き、新型コロナウイルス感染症対策「めぐろ・3S(スリーエス)・アクション」に全力で取り組み、区民の生命・健康と暮らしを守る。
- 2 目黒の未来を創造する10年間のスタート年度として、防災、子育て、教育、介護、環境、街づくり、DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進などに果敢に取り組むことで、ポストコロナを見据えた第一歩をしっかりと踏み出す。

## 2 主要な取組

現在策定作業中の新たな基本計画に定める政策を具体化するための実施計画に計上する予定の事業について、しっかりと予算化することを基本とし、実施計画事業予算は前年度比の約2倍となる75億6千万円余の事業費を計上しました。

### ★実施計画事業の例★

- 総合的な子ども家庭支援の拠点整備に係る設計、児童館・学童保育クラブの拡充整備、区立小中学校の更新に向けた取組やトイレの環境改善などの子育て支援と教育環境整備
- 特別養護老人ホーム、地域密着型サービス基盤等の整備支援など介護に係る事業
- 自由が丘駅周辺地区などの駅周辺地区の街づくり、地域交通の支援の推進、再生可能エネルギー設備等の設置費助成
- 木造住宅密集地域整備事業、民間建築物の耐震化促進、無電柱化の推進
- DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進など。

さらに、昨年9月に策定した「令和4年度行財政運営基本方針」に定める6つの重要課題への対応を積極的に進めていきます。

- 【課題1】 **新型コロナウイルス感染症への対応**
- 【課題2】 **安全で安心して暮らせるまちづくり**
- 【課題3】 **子育て子育て支援と教育の振興・環境整備**
- 【課題4】 **福祉の充実と健康づくりの推進**
- 【課題5】 **カーボンニュートラルと持続可能な街づくりへの挑戦**
- 【課題6】 **多様性を認め合い持続可能な社会に向けた取組の推進**

### 3 一般会計の予算規模は前年度比79億円増で、史上最大

一般会計の予算額は1,152億円余で、前年度比7.4%、79億1千万円余の増となり、予算規模は、目黒区史上最大となっています。

国民健康保険特別会計は、国民健康保険事業費納付金の増などにより、前年度比3.9%増の262億円余となっています。後期高齢者医療特別会計は、広域連合納付金の増などにより、7.7%増の73億円余となっています。介護保険特別会計は、保険給付費の増などにより、4.3%増の220億円余となっています。

◆各会計予算規模前年度比較

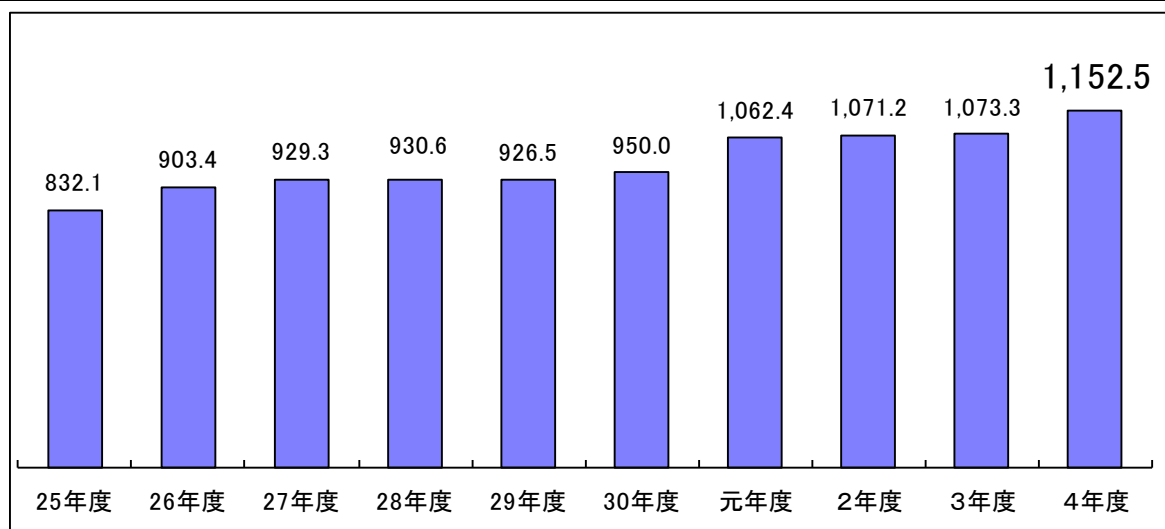
単位：千円

会計区分	令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
一般会計	115,247,948	107,334,764	7,913,184	7.4%
特別会計	55,648,894	53,232,877	2,416,017	4.5%
国民健康保険特別会計	26,222,123	25,249,345	972,778	3.9%
後期高齢者医療特別会計	7,337,112	6,811,198	525,914	7.7%
介護保険特別会計	22,089,659	21,172,334	917,325	4.3%
合計	170,896,842	160,567,641	10,329,201	6.4%

◆一般会計予算規模の推移

単位：億円、%

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
予算規模	832.1	903.4	929.3	930.6	926.5	950.0	1,062.4	1,071.2	1,073.3	1,152.5
伸び率	△ 6.0	8.6	2.9	0.1	△ 0.4	2.5	11.8	0.8	0.2	7.4



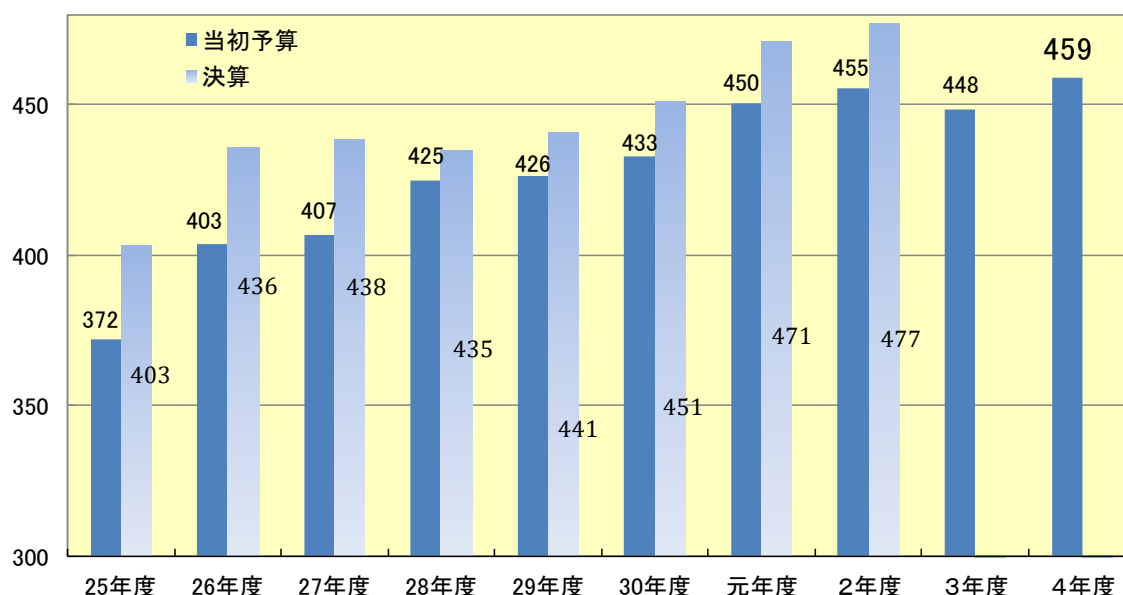
## 4 一般会計歳入歳出予算の概要

### (1)歳入の特徴「一般財源全体で前年度比40億3千万円の増」

区税収入は458億9千万円余で、区民税の増などにより、前年度比では2.3%、10億4千万円余の増額で、当初予算としては過去最高額の区税収入見込みとなっています。都区財政調整に基づく特別区交付金は、堅調な企業収益の伸びを背景として、財源である法人住民税等が増収となる見込みであること等により、21.5%、29億円の増となっています。財政調整基金の繰り入れの影響を除いた一般財源全体では、40億3千万円余の増となっています。

特定財源では、国庫支出金は15.9%、26億5千万円余の増、都支出金は9.6%、9億9千万円余の増となっています。特別区債は、特別養護老人ホーム中目黒の大規模改修及び児童館・学童保育クラブの整備などにより、6億8千万円余の増となっています。

特別区税の推移(単位:億円)



### (2)歳出の特徴「健康福祉費が予算総額の54%」

健康福祉費は618億8千万円余で、前年度比で19億8千万円余増加し、予算総額の53.7%を占めています。うち健康衛生費は、感染症対策業務委託など、コロナ対策経費を充実したことなどにより、4億6千万円余の増、児童福祉費は放課後子ども総合プランなどの子育て支援の充実で7億円余の増となっています。

既定経費は、私立保育所運営経費の増などで、前年度比5.0%、41億6千万円余の増、新規・レベルアップ経費は、私立保育所開設初年度の運営経費が減となったことなどにより、51.0%、7億9千万円余の減、臨時経費は、自由が丘駅周辺地区の街づくりに係る市街地再開発事業補助の増などにより、19.7%、45億4千万円余の増となっています。

## 5 健全で安定的な行財政基盤の確立に向けて

目黒区では、健全で安定的な行財政基盤の確立に向け、①財政運営の基本と積立基金の維持②積立基金の自律的な積立③起債の効果的運用という、財政運営上の3つのルールを定めています。

令和4年度は、財政調整基金に令和3年度決算剰余金見込みの2分の1相当の10億円を積み立てる一方で、11億6千万円余を取り崩しています。令和4年度末の基金残高は、令和3年度末見込みより1億5千万円余減の302億9千万円余となる見込みです。

施設整備基金及び学校施設整備基金は、令和3年度に財政運営上のルールを変更し、老朽化した学校施設を更新していくことを踏まえ、学校施設整備基金についても施設整備基金と同様の積立を行うこととしました。将来の施設更新に備え、それぞれに令和3年度決算剰余金見込みの10分の1相当の2億円を積み立てる一方、施設改修等のための取り崩しを行った結果、令和4年度末の基金残高は、施設整備基金は205億3千万円余、学校施設整備基金は103億6千万円余となる見込みです。

特別区債は13億2千万円余で、年間発行限度額を20億円としていたルールを変更し、実施計画期間5年間の発行限度額を150億円以下としました。工事の進捗等による年度間調整を可能とするようにした上で、将来の公債費負担を抑制しています。

こうした取組の結果、平成15年度末には791億円あった特別区債残高は令和4年度末には89億円まで減少する一方、131億円に過ぎなかった積立基金残高は649億円になり、基金残高は区債残高を560億円上回る見込みです。ただし、今後予定されている区有施設の更新のために区債残高が増加し、再び積立基金残高との差が縮むことが想定されるため、引き続き健全で安定的な財政基盤を確立する必要があります。そのため、エビデンス(客観的な根拠)に基づく政策立案など、持続可能な行財政運営に向けた基盤づくりに取り組んでいきます。

### 積立基金及び特別区債現在高の推移(単位:億円)

年度	3年度	4年度	~	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
積立基金現在高	326	323	~	131	118	145	184	223	271	210	163
地方債現在高	303	332	~	791	742	697	682	607	522	462	405
差引	23	▲9		▲660	▲624	▲552	▲498	▲384	▲251	▲252	▲242

年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
積立基金現在高	104	117	153	193	302	325	356	425	493	530	502	649
地方債現在高	355	335	297	233	201	185	167	148	139	119	99	89
差引	▲251	▲218	▲144	▲40	101	140	189	277	354	411	403	560

※差引は、「積立基金現在高-地方債現在高」

※2年度までは決算ベース、3年度からは当初予算ベース(いずれも普通会計)

### 国の不合理な税制改正による区財政への影響

税源偏在是正の名のもとで行われている国の不合理な税制改正により、目黒区財政への影響は甚大なものとなっており、その実施前にくらべ、法人住民税一部国税化で△25億円、ふるさと納税で△29億円、地方消費税清算基準見直しで△9億円となり、合計では△63億円となっています。

本来、地域間の税収等の格差については国の責任において地方税財源総体を拡充することで対応すべきであり、税源の奪い合いにより自治体間に不要な対立を生むような制度は認められません。

## 令和4年度当初予算案 重要課題に対する主な事業

### 1 新型コロナウイルス感染症への対応

新規 充実	件名	実施 計画	予算額 (千円)	P
	新型コロナウイルスのワクチン接種を円滑に進めます		1,989,778	7
新	新型コロナウイルス感染急拡大に対応できるよう、保健所の体制を強化します		450,000	8
新	事業再構築資金融資を実施します		13,327	9
新	インキュベーションオフィス利用促進事業		3,600	10
	高齢者・障害者のワクチン接種会場への移動を支援します		6,078	11
新	デジタルスタンプラリー事業への補助		857	12
新	保護者連絡手段のデジタル化・入退出管理システムを導入します		8,358	13
新	区立保育園のICT化を推進します		45,427	14
新	公開型GISを導入して、目黒区地域地区図(用途地域等)等のホームページをリニューアルします		7,194	15

### 2 安全で安心して暮らせるまちづくり

新規 充実	件名	実施 計画	予算額 (千円)	P
新	外国人避難者に配慮した避難所運営を推進します		690	16
新	区立特別養護老人ホーム等に蓄電池を配備します		6,262	17

### 3 子育て子育て支援と教育の振興・環境整備

新規 充実	件名	実施 計画	予算額 (千円)	P
充	子育て世代包括支援センター事業の充実を図ります		82,887	18
新	総合的な子ども家庭支援体制の構築	○	12,534	19
新	子どものインフルエンザ予防接種を助成します		32,806	21
新	民間事業者が実施する「地域子育てふれあいひろば」の整備を推進するため、家賃の一部を補助します		1,300	22
新	公営学童保育クラブにおいて延長保育を実施します		16,263	23
充	放課後等の子どもの居場所づくりを推進します	○	1,053,214	24
新	民営学童保育クラブにおける医療的ケア児の受入れを支援します		4,737	26
新	家事育児支援事業を拡充します		10,049	27
新	離婚前後親支援講座を実施します		112	28

	南部・西部地区の区立中学校の統合による新設中学校の開校に向けた取組を進めます	○	17,355	29
	学校施設を計画的に更新します	○	84,226	30

#### 4 福祉の充実と健康づくりの推進

新規 充実	件名	実施 計画	予算額 (千円)	P
充	コミュニティ・ソーシャルワーカー(CSW)の体制を拡充します		28,120	31
新	エンディングサポート(終活支援)事業・死後事務委任～人生を自分らしく、安心して最期を迎えるために		400	32
新	ノーリフティングケア推進事業		2,425	33
	高齢者肺炎球菌予防接種における自己負担額の無償化		17,511	34

#### 5 カーボンニュートラルと持続可能な街づくりへの挑戦

新規 充実	件名	実施 計画	予算額 (千円)	P
新 充	ゼロカーボンシティの実現を目指し、地球温暖化対策をはじめとする環境保全施策の取組を加速します	○	63,968	35
	自由が丘駅周辺地区における街づくり活動の支援と都市計画道路整備や道路と鉄道の立体化の検討に取り組みます	○	2,787,427	36
新	地域交通の支援を推進します	○	44,736	38
	目黒川の環境改善を総合的に進めていきます		593,151	39

#### 6 多様性を認め合い持続可能な社会に向けた取組の推進

新規 充実	件名	実施 計画	予算額 (千円)	P
新	東京2020オリンピック・パラリンピック大会のレガシーを活用した事業を実施します		1,922	40

#### 7 DXの取組

新規 充実	件名	実施 計画	予算額 (千円)	P
新	DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進	○	357,376	41
新	案内ロボット・コールセンターの試行導入をします		10,753	42
新	図書館のシステム環境を充実します		66,453	43

# 1 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルスのワクチン接種を円滑に進めます

予算額:1,989,778千円

## 目的・概要

新型コロナウイルスワクチンの接種目的は、新型コロナウイルス感染症の重症化予防・発症予防等にあります。令和3年度に引き続き、区民への円滑な接種を実施していきます。

## 内容

目黒区では、国発出の通知や自治体向け説明会の内容に基づき、初回接種(1・2回目)を進めてきました。令和3年12月1日からは追加接種(3回目)が開始となりました。

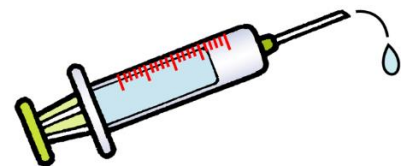
令和3年度に引き続き、区民への円滑な接種を実施できるよう、主に追加接種に向けた体制確保や接種のための環境整備に係る経費を計上します。

### 1 接種に向けた体制確保

ワクチン接種券の印刷・発送をはじめ、区民からの問い合わせ受付等を行うコールセンター運営に係る経費等

### 2 接種の環境整備

ワクチン接種を行うための医療従事者の人件費、会場運営に係る経費等



## 担当所管

■ 健康推進部 新型コロナ予防接種課 新型コロナ予防接種係  
直通電話 03-5722-7046 内線番号 ( 4021・4023 )



# 1 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染急拡大に対応できるよう、保健所の体制を強化します

予算額:450,000千円

## 目的・概要

新型コロナウイルス感染症の感染急拡大に伴い、保健所業務がひっ迫しています。保健所の体制を強化することで、区民への円滑かつ迅速なサービスを提供していきます。

## 内容

新型コロナウイルス感染症の感染急拡大に伴い、日々の発生件数や自宅療養者が急増し、保健所業務のひっ迫は全国の自治体と同様、目黒区においても深刻さを増しています。

この状況から、区民への円滑かつ迅速なサービスの提供を目指し、保健所の体制を強化します。体制強化に向け、保健所業務の一部を委託化するための経費を計上します。

### 1 健康観察取次業務

保健所が円滑に自宅療養者の健康状態を把握できるよう、架電等の実施

### 2 パルスオキシメーター貸与業務

パルスオキシメーターの在庫管理、配送・返品の対応

### 3 応急食料品等支給業務

応急食料品等の配送

### 4 相談業務

新型コロナウイルス感染症に関する一般的な相談対応

## 担当所管

■ 健康推進部 感染症対策課 感染症対策係  
直通電話 03-5722-9896 内線番号 ( 4063 )

# 1 新型コロナウイルス感染症への対応

## 事業再構築資金融資を実施します

予算額:13,327千円

### 目的・概要

新型コロナウイルスにより、経営に影響を受けた区内事業者がポストコロナを見据えて事業再構築に積極的に取り組むための支援として新たな融資制度を新設します。

### 内容

新型コロナウイルスにより、経営に影響を受けた区内事業者がポストコロナを見据えて、DX活用・設備投資・事業の多角化等の事業再構築に積極的に取り組めるよう融資あっせんを行い、利子補給を行います。

### 事業再構築資金融資の概要

#### (1)利率(年利)

当初3年間無利子(区利子補給率1.8%以内)、4年目以降0.4%以内(区利子補給率1.4%以内)

#### (2)融資の対象・条件

次の①、②の要件をすべて満たすこと。

①次のア、イのいずれかの要件を満たすこと。

ア 直近3か月の売上高等が過去3年間のいずれかの年の同期と比して、15%以上減少し、かつ事業再構築に取り組むこと。

イ 過去3年間のいずれかの年の同期と比較することができない場合は、直近1か月の売上高等が、直近1か月を含む直近3か月間の平均売上高等と比して、15%以上減少し、かつ事業再構築に取り組むこと。

②区内に1年以上住所又は主たる事業所を有するとともに、1年以上事業を営んでいること。なお、法人の場合は1年以上区内に登記上の本店所在地を有すること。

### 担当所管

■ 産業経済部 産業経済・消費生活課 経済・融資係  
直通電話 03-5722-9880 内線番号 ( 2484 )

# 1 新型コロナウイルス感染症への対応

## インキュベーションオフィス利用促進事業

予算額:3,600千円

### 目的・概要

寄付金を活用し、実践めぐる創業塾修了の新規創業者が利用するインキュベーション施設の使用料等を助成。

### 内容

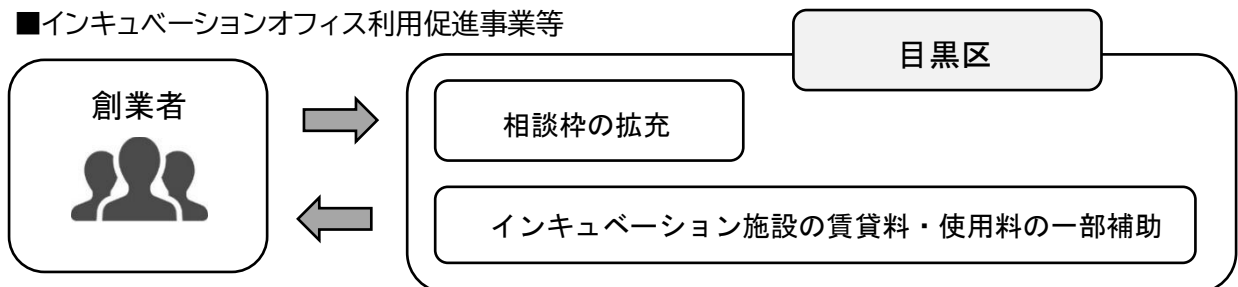
インキュベーション施設の使用料等を助成することにより、女性や若年層、高齢者など、幅広い年代における創業者の増加を促進し、コロナ禍などを機に創業・起業を目指す方など、変化する創業動機、多様化する業種への支援を充実して地域経済の活性化へつなげます。

### 事業概要

信金中央金庫の寄附金(地域創生推進スキーム「SCBふるさと応援団」)を活用し、本店所在地がある目黒信用金庫との連携を図り、下記の1~3を3年間実施する予定です。

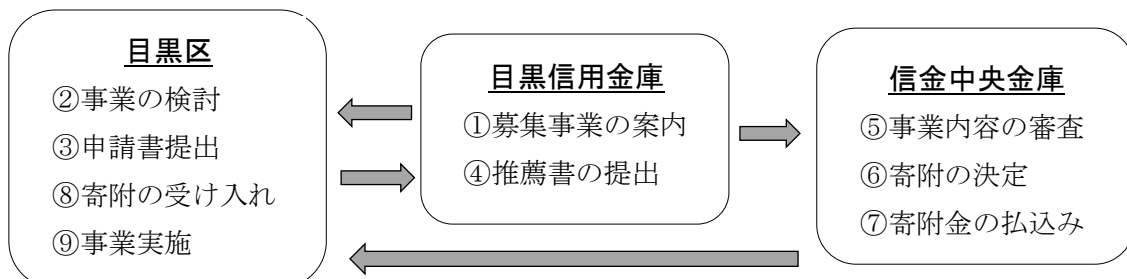
- 1 創業相談窓口の相談枠を拡充します。
- 2 実践めぐる創業塾修了者の新規創業に対し、インキュベーション施設の賃貸料・使用料の一部を補助します。
- 3 新規創業者の経営能力の向上を図り、創業者同士のネットワークづくりなど、創業者の育成に努めます。

### ■インキュベーションオフィス利用促進事業等



■本事業は、寄附金(1千万円)を活用して実施します。

### 地域創生推進スキーム「SCBふるさと応援団」概要



### 担当所管

■ 産業経済部 産業経済・消費生活課 中小企業振興係  
直通電話 03-3711-1134 内線番号 ( 81-201 )

# 1 新型コロナウイルス感染症への対応

高齢者・障害者のワクチン接種会場への移動を支援します

予算額:6,078 千円

## 目的・概要

新型コロナウイルス感染症の重症化リスクが高い高齢者や障害者のかたが、円滑に安心してワクチン接種を受けることができるように、3回目接種についてもワクチン接種会場へのタクシー代相当の助成及び区内の通所系介護事業所に対する移動支援助成を実施します。

## 内容

### 1 移動困難高齢者等のワクチン接種会場への移動支援事業

ワクチン接種会場へ自力で移動することが困難で、家族等による送迎が難しい在宅の要介護高齢者等及び障害者を対象に、タクシー代相当分の交通費を助成します。

- (1)対象者 ・在宅の要介護1～5の認定を受けているかた  
・身体障害者手帳総合等級3級以上所持者または愛の手帳所持者
- (2)助成額 自宅から会場までの往復タクシー代相当  
上限2,000円(片道1,000円×往復)



### 2 通所介護事業所等が行うワクチン接種会場移動等支援助成事業

区内の介護保険の通所系介護事業所が、介護保険サービスの範囲外で、対象者のワクチン接種会場への移動、会場内の介助等の支援を行った場合に、事業所に対し助成金を支給します。

- (1)対象事業所 区内に所在する通所系介護サービスの事業所(通所介護事業所、通所リハビリテーション事業所、地域密着型通所介護事業所、認知症対応型通所介護事業所)
- (2)対象利用者 要介護認定を受けている通所系介護サービス利用者で、心身の状況や独居等の理由で、単独での移動が困難であるために、当該事業所による移動の支援を希望する区民のかた
- (3)助成額 事業所に対して接種者1人につき、  
接種1回あたり10,000円



## 担当所管

### ■ 移動困難高齢者等のワクチン接種会場への移動支援事業 (タクシー代助成)

健康福祉部 健康福祉計画課 指導検査係

直通電話 03-5722-9602 内線番号 (2813)

### ■ 通所介護事業所等が行うワクチン接種会場移動等支援助成事業

健康福祉部 介護保険課 介護保険給付係

直通電話 03-5722-9847 内線番号 (2561)

# 1 新型コロナウイルス感染症への対応

## デジタルスタンプラリー事業への補助

予算額:857千円

### 目的・概要

目黒区観光ビジョンが掲げる「人々の心を豊かにし、まちの活力を高める」目標の達成のため、一般社団法人めぐろ観光まちづくり協会が実施するデジタルスタンプラリー事業への経費を補助します。

### 内容

一般社団法人めぐろ観光まちづくり協会では、コロナ禍の中、新しい日常を着実に進めるため、新たにデジタルスタンプラリー事業を実施します。個人が所有するスマートフォンなどの電子機器を用いて、区内の観光スポットに設置されたQRコードを読み取るとスタンプが取得できます。また、スタンプラリーへの参加者については、参加賞が進呈されます。スタンプラリーを非接触型にすることで、安心して楽しく観光スポットを回遊してもらい「まちの活力を高める」誘客を図っていきます。



### 担当所管

■ 文化・スポーツ部 文化・交流課 文化・観光係  
直通電話 03-5722-9553 内線番号 ( 2164 )

# 1 新型コロナウイルス感染症への対応

保護者連絡手段のデジタル化・入退出管理システムを導入します

予算額:8,358千円

## 目的・概要

児童館、学童保育クラブ、ランランひろば(以下「児童館等」という。)と保護者との連絡手段をデジタル化し、学童保育クラブの入退出管理システムを導入することで、事業の利便性を高め、保護者と施設の負担を軽減します。

## 内容

児童館等と保護者間における双方向の情報連絡を可能とするクラウドサービスを利用したシステムを導入します。また、学童保育クラブ利用児童の登所・降所の情報を保護者へアプリ通知やメールでお知らせするサービスを開始します。

### (1)導入する機能

#### ○児童館等共通

災害時の緊急連絡、安否確認、お便り・通知の一斉配信、利用者アンケートの配布・集計

#### ○学童保育クラブのみ

学童保育クラブ利用児童のスケジュール管理、欠席等の連絡のデジタル化、登所・降所情報の保護者への通知

### (2)導入時期

令和4年4月

## 担当所管

### ■ 子育て支援部 子育て支援課 児童館係

直通電話 03-5722-6831 内線番号 ( 3855 )

### ■ 子育て支援部 放課後子ども対策課 放課後子ども事業係

直通電話 03-5722-9029 内線番号 ( 3853 )

# 1 新型コロナウイルス感染症への対応

## 区立保育園のICT化を推進します

予算額:45,427千円

### 目的・概要

保育施設のICT化を推進し、園利用における利便性及び保育の質の向上並びに保育士等の業務負担の軽減化を図るため、保育士等へタブレット端末を付与の上、区立保育園へ保育支援システムを導入します。

### 内容

- 1 保育士等へタブレット端末を原則1人1台付与します(予算額:33,987千円)
- 2 クラウドサービスを利用した保育支援システムを導入し、これと連携した保護者向け専用アプリケーションを整備します(予算額:11,440千円)

#### 【保育士等目線】これからは！

- タブレット端末で事務作業を効率的に処理することが可能になります。  
⇒ 負担軽減により子どもと向き合う時間を創出し、保育の質を向上
- 緊急での電話連絡が必要だった感染症や災害等の発生時にシステム上で、迅速・正確な情報共有が可能になります。  
⇒ 負担軽減により保育士等の働き方改革を推進



#### 【保護者目線】これからは！

- 緊急連絡や日々のお便り等配付物をスマホ上で即時確認することが可能になります。  
⇒ 園利用における利便性の向上
- 電話連絡や紙ベースでの提出が必要だった欠席連絡や連絡帳のやりとりがスマホ上で気軽に連絡することが可能になります。  
⇒ 負担軽減により子どもと向き合う時間を創出



### 担当所管

■ 子育て支援部 保育課 保育係

直通電話 03-5722-9865 内線番号 ( 2826 )

# 1 新型コロナウイルス感染症への対応

公開型GISを導入して、目黒区地域地区図(用途地域等)等のホームページをリニューアルします

予算額:7,194千円

## 目的・概要

主に窓口において区民等に対面公開している目黒区地域地区図、指定道路図及び道路台帳現況平面図について、窓口の混雑解消やテレワーク支援等のため、スマートフォンでも閲覧・検索が容易となる公開型GISを活用したホームページにリニューアルします。

## 内容

### 1 公開型GISとは

Geographic Information System(地理情報システム)の略称です。デジタル化した各種地図をシステム上で視覚的に分かりやすく表現し、容易に住所検索することができます。このシステムをWEB公開し、インターネットブラウザで簡単に利用できるようにしたものです。

### 2 公開地図データ

- 目黒区地域地区図(PDF 公開からの更新)  
お調べしたい場所の都市計画情報(用途地域や建蔽率、容積率、日影規制など)が表示されます。
- 指定道路図(PDF 公開からの更新)  
お調べしたい道路の建築基準法に基づく指定道路の種類及び位置が表示されます。
- 道路台帳現況平面図(新規公開)  
お調べしたい場所付近の目黒区が管理をしている道路の現況平面図が表示されます。

#### 担当所管

- 都市整備部 建築課 調査係  
直通電話 03-5722-9638 内線番号 ( 3371 )
- 都市整備部 土木管理課 境界係  
直通電話 03-5722-9467 内線番号 ( 3151 )
- 都市整備部 都市計画課 都市計画係  
直通電話 03-5722-9726 内線番号 ( 2914 )



## 2 安全で安心して暮らせるまちづくり

外国人避難者に配慮した避難所運営を推進します

予算額:690千円

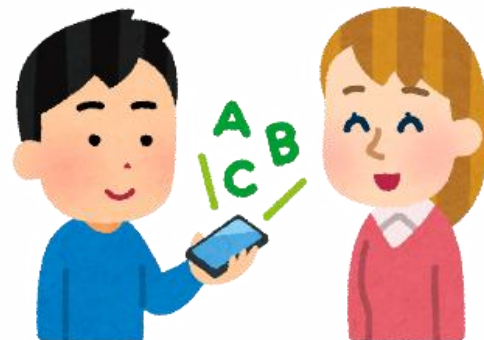
### 目的・概要

外国人避難者に配慮した避難所運営を推進していくために、区内38か所の地域避難所に音声自動翻訳機を配備します。

### 内容

災害時において、高齢者・障害者・妊産婦・外国人などの要配慮者も含め誰もが安心して避難所生活を送ることができる環境づくりは、重要な課題となっています。特に、外国人は言語の違いが壁となり、必要な支援や情報が得られない可能性があります。避難所では避難者の受け入れや生活の支援のため、様々な避難者と十分なコミュニケーションを図っていく必要があります。

区ではこれまでコミュニケーションボードを活用し、外国人避難者とコミュニケーションを図ることを想定していましたが、これまで以上に避難者一人ひとりと適切なコミュニケーションを図っていくため、区内38か所の地域避難所に音声自動翻訳機を配備します。



### 担当所管

■ 危機管理部 防災課

直通電話 03-5723-8488 内線番号 ( 6221 )

## 2 安全で安心して暮らせるまちづくり

### 区立特別養護老人ホーム等に蓄電池を配備します

予算額: 6, 262千円

#### 目的・概要

首都直下地震などによる長時間の停電等、災害時における非常用電源を確保するため、区立特別養護老人ホーム3施設及び田道在宅ケア多機能センターにソーラーパネル付きポータブル蓄電池を配備します。

#### 内容

##### (1)区立特別養護老人ホームへの配備(4, 924千円)

区立特別養護老人ホームについては、停電時は、自動的に非常用自家発電装置が作動することで、最低限の運営をすることが可能ですが、首都直下地震などによる長時間の停電においては、追加燃料の供給が遅れ、非常用自家発電装置が停止することも想定されます。常時酸素使用や痰吸引など、医療的ケアが必要な方が一定数入所している区立特別養護老人ホームでは、長時間の停電時においても、生命維持のための電源を確保する必要があるため、ソーラーパネル付きポータブル蓄電池を配備します。

##### (2)田道在宅ケア多機能センターへの配備(1, 338千円)

田道在宅ケア多機能センターは目黒川沿いにあるため、水害ハザードマップでは想定しうる最大規模の降雨があった場合に浸水する危険性が高いとされています。施設には非常用自家発電装置が設置されていますが、消火栓、スプリンクラー、排煙設備等使用可能なものが限られており、災害時における非常用電源確保のため、ソーラーパネル付きポータブル蓄電池を配備します。



#### 担当所管

■ 健康福祉部 高齢福祉課 高齢者福祉住宅・施設係  
直通電話 03-5722-9843 内線番号 ( 2881 )

### 3 子育て子育て支援と教育の振興・環境整備

#### 子育て世代包括支援センター事業の充実を図ります

予算額:82,887千円

##### 目的・概要

妊娠期から出産、子育て期にわたる切れ目ない支援を目指し、子育て世代包括支援センター事業の充実を図ります。

##### 内容

妊娠期から出産、子育て期にわたる切れ目ない支援を目指して、必要な支援策を包括的に提供できるよう区の組織間の連携を図り、「子育て世代包括支援センター」として取り組みを進めています。

「ゆりかご・めぐろ事業」では妊娠の早い段階から助産師等専門職の面接により実情に合った情報提供や保健相談など行います。産後の母子へのケアや相談対応などを行う「産後ケア事業」は訪問型、宿泊型、通所「集団」型とニーズに合わせて利用していただけるよう拡充します。また、コロナ禍で不安を抱える妊産婦やハイリスク者への支援を即時に行えるよう専門職を配置し相談支援機能強化を図っています。

令和4年度は、新たに2つの事業を開始します。

○多胎児家庭支援事業(健診や予防接種時の移動経費補助)

○ファーストバースデイサポート事業(区内在住の1歳を迎えるお子さんがいるご家庭への子育て支援の情報提供、ご家庭の状況把握や相談支援、育児パッケージの配布)



##### 担当所管

- 健康推進部 保健予防課 保健サービス係  
直通電話 03-5722-9503 内線番号(4142)
- 健康推進部 碑文谷保健センター 保健サービス係  
直通電話 03-3711-6446

### 3 子育て子育て支援と教育の振興・環境整備

#### 総合的な子ども家庭支援体制の構築

予算額:12,534千円

#### 目的・概要

碑文谷保健センターを改修し、子育て世代包括支援センター(母子保健機能)と子ども家庭支援センター(子育て支援機能)との連携を強化するとともに、東京都児童相談所のサテライトオフィスを誘致することにより、総合的な子ども家庭支援体制を構築します。

#### 内容

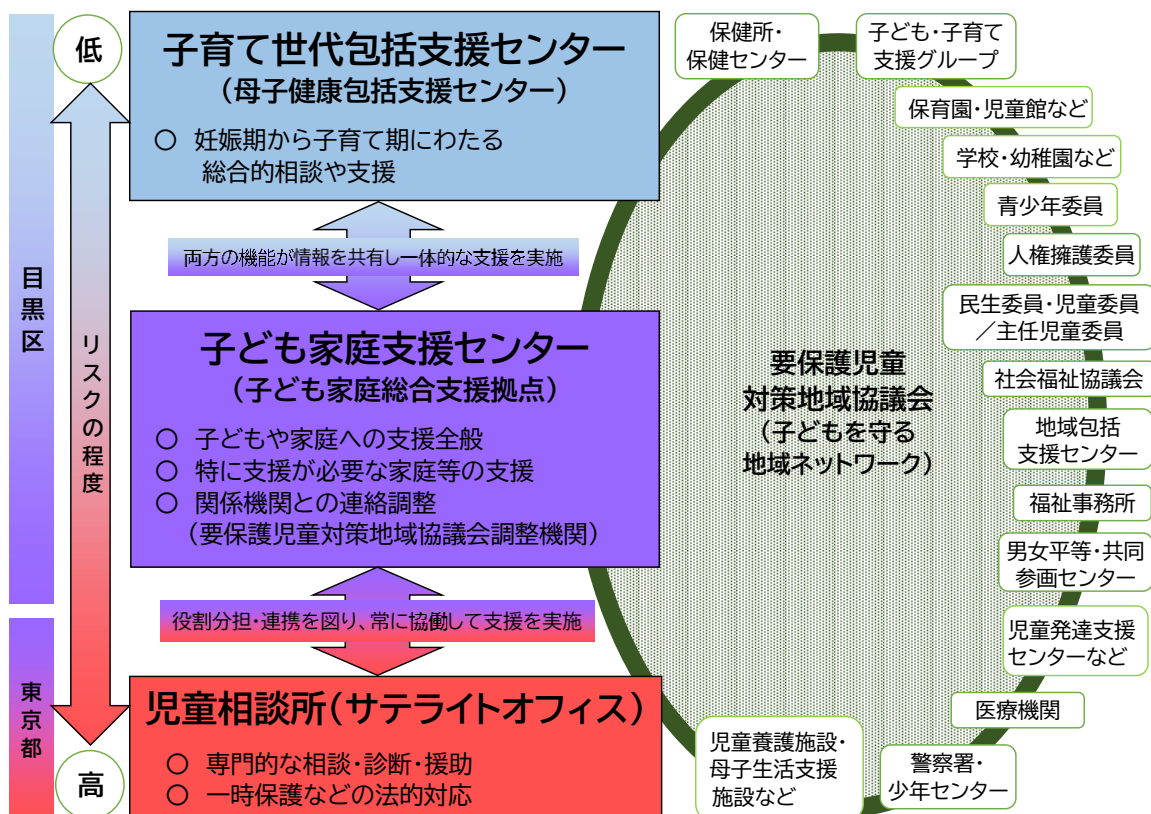
##### 1 取組の概要

子育て世代包括支援センター、子ども家庭支援センター及び東京都児童相談所の連携強化を目的として、碑文谷保健センターを改修し、以下の取組を行います。

なお、令和4年度は碑文谷保健センター改修の設計を行います(予算額:12,534千円)。

- 子育て世代包括支援センターと子ども家庭支援センターとの連携・協力体制の強化を図るため、総合庁舎の子ども家庭支援センター機能を移転します。
- 子育て世代包括支援センターの機能強化を図るため、産後ケア等の機能を整備します。
- 子ども家庭支援センターと東京都児童相談所の連携拠点となる東京都児童相談所のサテライトオフィスを誘致し、両者の連携強化を図ります。

#### 総合的な子ども家庭支援体制(イメージ図)



## 2 取組の効果

- 母子保健サービス及び子育て支援サービスの一体的提供によって区民サービスを向上させるとともに、相談支援の一元化によって児童虐待未然防止を強化します。
- 東京都児童相談所のサテライトオフィス誘致によって児童虐待への迅速な対応を図るとともに、児童相談所設置に向けてノウハウの蓄積や人材育成の推進を図ります。

## 3 今後の予定

- 令和4年度 各種検討、設計
- 令和5年度 改修工事
- 令和6年度 子ども家庭支援センター移転  
(サテライトオフィス開設)

### 担当所管

- 健康推進部 碑文谷保健センター 保健サービス係  
直通電話 03-3711-6446 内線番号 ( 83-203 )
- 子育て支援部 子ども家庭支援センター 事業係  
直通電話 03-5722-6836 内線番号 ( 2746 )
- 子育て支援部 児童相談所設置調整課 児童相談所設置調整係  
直通電話 03-5722-9627 内線番号 ( 3881 )

### 3 子育て子育て支援と教育の振興・環境整備

子どものインフルエンザ予防接種を助成します

予算額:32,806千円

#### 目的・概要

子どものインフルエンザ予防接種の任意接種費用を一部助成します。

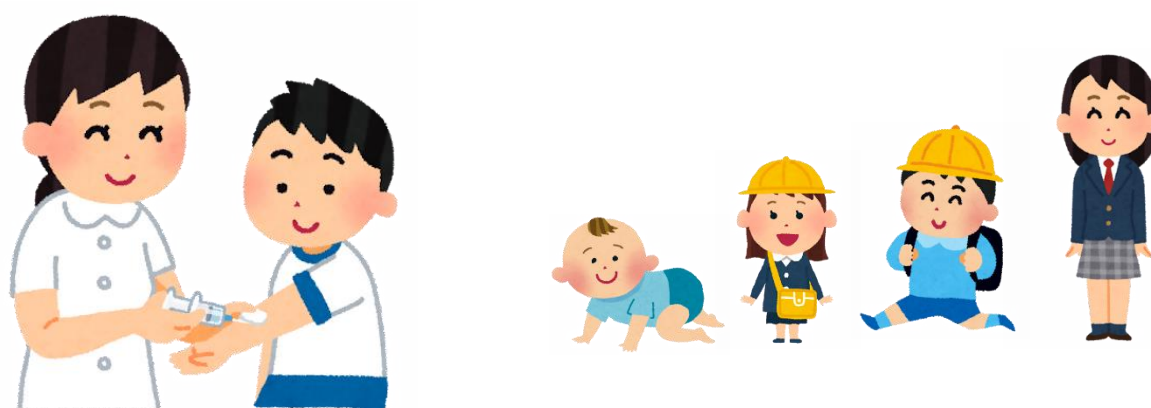
#### 内容

子どものインフルエンザ予防接種は任意接種のため、全額自己負担となっていました。子育て家庭への経済的支援及び予防接種を受けやすい環境整備のため、令和4年度から子どものインフルエンザ予防接種費用を助成します。

- 1 助成額 一部助成 1,000 円/回
- 2 実施期間 令和4年10月1日から令和5年1月31日まで
- 3 対象者 生後6ヵ月から15歳(中学3年生)までの区内在住者
- 4 実施場所 区内契約医療機関

#### 周知方法

めぐろ区報及びホームページでお知らせします。



#### 担当所管

■ 健康推進部 保健予防課 予防接種係  
直通電話 03-5722-7047 内線番号 ( 4106 )

### 3 子育て子育て支援と教育の振興・環境整備

民間事業者が実施する「地域子育てふれあいひろば」の整備を推進するため、家賃の一部を補助します。

予算額:1,300千円

#### 目的・概要

地域における子育て支援の充実を図り、子育て中の保護者の孤独感や不安感を緩和し、子どもの育ちを支援するために、「地域子育てふれあいひろば事業」を実施する事業者に家賃の一部を補助し整備を推進します。

#### 内容

子育て世帯が身近な地域の中で「地域子育てふれあいひろば」を利用できるようにするため、同事業へ補助を行います。また、「地域子育てふれあいひろば」の開設時の準備経費の補助を行います。

さらに、既存の施設及び新規に開設する「地域子育てふれあいひろば」を安定的に運営するために、家賃の一部補助を実施します。

#### 【整備の状況(令和4年1月現在)】

地区名	名称	地区名	名称
北部地区 (2 箇所)	菅刈保育園 小さな花の家※	南部地区 (2 箇所)	第二ひもんや保育園 ※(令和4年4月～) 原町保育園
東部地区 (3 箇所)	ほ・ねっとひろば 第二上目黒保育園 目黒保育園※	西部地区 (2 箇所)	八雲保育園 子育てサロンココロ※
中央地区 (1 箇所)	上目黒住区センター児童館	(※は民間事業者による地域子育てふれあいひろば)	

令和4年度は、公募等により、開設時の準備経費補助を行い、2か所の地域子育てふれあいひろばを整備する予定です。

#### 担当所管

■ 子育て支援部 子育て支援課 利用者支援係  
直通電話 03-5722-9596 内線番号 ( 2754 )

### 3 子育て子育て支援と教育の振興・環境整備

公営学童保育クラブにおいて延長保育を実施します

予算額:16,263千円

#### 目的・概要

公営学童保育クラブにおいて延長保育を実施するにあたり、職員体制確保のために必要な人材派遣を利用します。

#### 内容

迅速で的確に人材を確保できる人材派遣を利用して、令和4年度から公営の学童保育クラブ(17か所)の延長保育を実施します。

これにより、目黒区子ども総合計画の計画目標のひとつである、すべての学童保育クラブ(44か所)での午前8時から午後7時までの延長保育が整備されます。引き続き、放課後の安全・安心な児童の居場所の拡充とニーズに応じた保育サービスの提供による保護者の子育てと就労がしやすい環境づくりを推進していきます。

#### 担当所管

■ 子育て支援部 子育て支援課 児童館係

直通電話 03-5722-6831 内線番号 ( 3855 )



### 3 子育て子育て支援と教育の振興・環境整備

放課後等の子どもの居場所づくりを推進します

予算額:1,053,214 千円

#### 目的・概要

子どもの数の増加や子育て家庭の生活状況の変化に伴い、児童館・学童保育クラブの拡充整備、放課後子ども総合プランの推進等、放課後等の子どもの居場所づくりを推進します。

#### 内容

##### 1 児童館・学童保育クラブの拡充整備(予算:812,934 千円)

担当所管:放課後子ども対策課、南部地区サービス事務所、西部地区サービス事務所

他の地区に比べ近隣に児童館がない、または児童館の数が少ない南部・西部地区に、児童館のあり方等を踏まえ児童館を整備するとともに、全区的に需要増となっている学童保育クラブを整備します。

- (1)令和5年4月開設予定の東根職員住宅跡を活用した児童館及び学童保育クラブの整備を進めます。
- (2)令和5年4月開設予定の碑文谷土木公園事務所跡を活用した児童館の整備及びひもんや学童保育クラブの移転を進めます。

##### 2 放課後子ども総合プランの推進(予算:240,280 千円)

担当所管:放課後子ども対策課、学校 ICT 課、学校運営課、学校施設計画課

すべての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるようにするため、放課後子ども総合プランを推進します。

- (1)令和4年4月開設の小学校内学童保育クラブ(2校)及びランランひろば(5校)の運営委託を行います。
- (2)令和5年4月開設予定の小学校内学童保育クラブ(2校)の整備を進めます。
- (3)令和5年4月から実施予定のランランひろば(2校)の開設準備を行います。



**担当所管**

- 子育て支援部 放課後子ども対策課 放課後子ども事業係  
 直通電話 03- 5722-9029  
 内線番号 ( 3853 )
- 子育て支援部 放課後子ども対策課 放課後子ども施設係  
 直通電話 03- 5722-9358  
 内線番号 ( 2765 )
- 区民生活部 南部地区サービス事務所 地域コミュニティ支援係  
 直通電話 03- 3719-2091  
 内線電話 ( 714 )
- 区民生活部 西部地区サービス事務所 地域コミュニティ支援係  
 直通電話 03- 5731-2505  
 内線電話 ( 33 )
- 教育委員会事務局 学校 ICT 課 学校 ICT 管理係  
 直通電話 03- 5722-9147  
 内線番号 ( 3522 )
- 教育委員会事務局 学校運営課 学事係  
 直通電話 03- 5722-9304  
 内線番号 ( 3541 )
- 教育委員会事務局 学校施設計画課 学校施設計画係  
 直通電話 03- 5722-9307  
 内線番号 ( 3513 )

### 3 子育て子育て支援と教育の振興・環境整備

民営学童保育クラブにおける医療的ケア児の受け入れを支援します

予算額:4,737千円

#### 目的・概要

民営の学童保育クラブに入所する医療的ケアが必要な児童に対し、適切な医療的ケアを行うため、看護師等の配置を支援します。

#### 内容

日常的に経管栄養・痰吸引等の医療を必要とする障害児で、集団保育が可能な児童を民営学童保育クラブで受け入れるにあたり、看護師等の配置をはじめとした環境を整備し、多様な保育ニーズのひとつである障害児保育の充実を図ります。

#### 担当所管

■ 子育て支援部 子育て支援課 児童館係

直通電話 03-5722-6831 内線番号 ( 3856 )

### 3 子育て子育て支援と教育の振興・環境整備

#### 家事育児支援事業を拡充します

予算額:10,049千円

##### 目的・概要

家事育児支援ヘルパー派遣事業の利用期間の延長及び利用時間数を拡大します。  
また、家事育児サポーター(産後ドゥーラ)による産後の家事・育児支援を新たに実施することにより、子育て世帯を応援していきます。

##### 内容

#### 1 家事育児支援ヘルパー派遣事業(拡充)(予算額:3,849千円)

乳児の世話や家事援助を行う家事育児支援ヘルパー派遣事業の利用期間を延長し、利用時間を拡大します。

#### 2 家事育児サポーター(産後ドゥーラ)による産後の家事・育児支援事業

##### (1)家事育児サポーター(産後ドゥーラ)利用費助成事業(予算額:4,200千円)

新たな産後支援として、区と提携した家事育児サポーター(産後ドゥーラ)による支援サービス等を利用した場合に、利用料の一部を助成します。

産後ドゥーラとは・・・

産前産後の女性特有のニーズに応え、心身の安定と産後の身体の回復、赤ちゃんの育児や新しい生活へのスムーズな導入を目的に母親の気持ちに寄り添った、母親のためのサポートを行う人です。

(一般社団法人ドゥーラ協会HP参照。)

##### (2)家事育児サポーター(産後ドゥーラ)養成講座受講費助成事業(予算額:2,000千円)

家事育児サポーター(産後ドゥーラ)利用費助成事業において活動する家事育児サポーター(産後ドゥーラ)を養成するため、養成講座の受講料の一部を助成します。

##### 担当所管

■ 子育て支援部 子ども家庭支援センター 事業係  
直通電話 03-5722-6836 内線番号(2746)

### 3 子育て子育て支援と教育の振興・環境整備

#### 離婚前後親支援講座を実施します

予算額:112千円

##### 目的・概要

親の離婚後も子どもが心身ともに健やかに育成されるよう、離婚を考える父母等に対し、子どものメンタルケアや養育費、面会交流など、子どもの生活を守るための情報を伝える講座を開催します。

##### 内容

さまざまな事情によりやむを得ず離婚を選択するとしても、離婚後における子どもへの接し方、離婚手続き、養育費の支払いや面会交流に関する取り決め方法、子どもの年齢に応じた生活設計等、子どもの生活を守るために知っておいた方が良いことがあります。

目黒区では、令和3年度、民間団体の協力により、試験的に計6回「目黒区パパとママの離婚講座」を開催しました。参加者からは「有意義な情報がたくさんあった」「離婚することとは関係なく、育児においてためになる話も多く、参加して良かった」など、高い評価を得ました。

令和4年度は、国の補助金を活用し、必要経費を予算化して「離婚前後親支援講座」を開催します。

この講座を通して、離婚後の生活の安定につながる知識を得て頂くとともに、ひとり親家庭への支援施策や相談窓口に関する情報提供を行います。

##### 担当所管

■ 子育て支援部 子ども家庭支援センター ひとり親・生活支援係  
直通電話 03-5722-9862 内線番号 ( 3884 )

### 3 子育て子育て支援と教育の振興・環境整備

南部・西部地区の区立中学校の統合による新設中学校の開校に向けた取組を進めます

予算額:17,355千円

#### 目的・概要

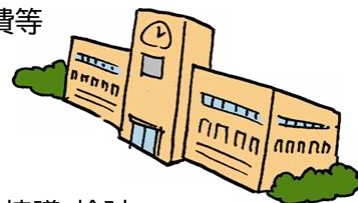
南部・西部地区の区立中学校の適正規模・適正配置の実現を図るため、統合方針「望ましい規模の区立中学校の実現を目指して」を令和3年12月に改定しました。令和7年4月を目途に、「第七中学校」と「第九中学校」、「第八中学校」と「第十一中学校」を統合して、新設中学校2校を開校します。新設中学校の校舎は建替えにより整備し、令和9年度中を目標に新校舎へ移転します。

令和4年度は新設中学校の開校に向け、学校関係者・保護者・地域の方などによる協議組織を設置し、基本的な事項(学校の位置、目指す学校像等)を協議します。また、協議組織等による協議・検討結果に基づいて、新設中学校の基本的な事項を示した方針(統合新校整備方針)を策定するなどの取組を行います。

#### 内容

統合による新設中学校の開校に向けた取組に係る経費(予算額:17,355千円)

統合新校整備方針の周知や新校舎整備に向けた敷地調査にかかる経費等



#### ■ 今後のスケジュール(予定)

令和4年度 協議組織を設置し、新設中学校の基本的な事項についての協議・検討

統合新校整備方針の策定 ほか

令和5年度 校名の選定、生徒間の交流活動の開始 ほか

令和6年度 教育計画の策定、校章・校旗、校歌、標準服などの決定 ほか

令和7年度～ 4月に新設中学校を既存校舎で開校、新校舎建設工事の開始 ほか

令和9年度 新校舎へ移転(年度中)

#### 担当所管

##### ■ 教育委員会事務局 学校統合推進課

直通電話 03-5722-9301 内線番号 ( 3511 )

##### ■ 教育委員会事務局 学校施設計画課

直通電話 03-5722-9307 内線番号 ( 3513 )

### 3 子育て子育て支援と教育の振興・環境整備

#### 学校施設を計画的に更新します

予算額:84, 226千円

##### 目的・概要

目黒区では、持続可能な施設サービスの提供に向けて、平成24年から区有施設見直しの取り組みを進めています。

学校施設は、区有施設全体の40パーセント以上を占めており、小中学校31校のうち26校が築50年を経過していることから、計画的な更新(建替え)が不可欠な状況です。

教育委員会では、将来にわたって児童・生徒が快適かつ安全・安心に学校生活を送れるように、令和3年3月に目黒区学校施設更新計画を策定し、老朽化した学校施設を計画的に更新することとしました。

令和4年度から1校目となる向原小学校の建替えの取組に着手します。

##### 内容

##### 向原小学校の建替えに係る経費(予算額:84, 226千円)

向原小学校の建替えに向けて、基本構想・基本設計、敷地測量、耐力度調査、地盤調査及びネットワーク構築検討の業務委託を実施します。



##### 担当所管

■ 教育委員会事務局 学校施設計画課 学校施設計画係  
直通電話 03- 5722-9307 内線番号 ( 3513 )

## 4 福祉の充実と健康づくりの推進

### コミュニティ・ソーシャルワーカー(CSW)の体制を拡充します

予算額:28,120千円

#### 目的・概要

8050問題、ひきこもり、ヤングケアラーなどの制度の狭間の課題、コロナ禍による影響など、複雑化・複合化する福祉ニーズに対応するため、令和3年度に社会福祉協議会に配置した「コミュニティ・ソーシャルワーカー(CSW)」を増員し、体制を拡充します。

断らない相談支援、参加支援(社会とのつながり等)、地域づくりに向けた支援に積極的に取り組み、地域共生社会を目指します。

#### 内容

コミュニティ・ソーシャルワーカー(CSW)は、高齢、障害、子育て、生活困窮など福祉の各分野の枠を越えた様々な課題に対応します。命に関わる緊急性の高い問題から、ご自身が困りごとに気付いていない人、助けてと言えずにいる人の情報・連絡などを受け止め、安全・安心に暮らせる地域づくりを推進していきます。

CSWは地域に積極的に向かい、皆さんの近くで、多様な困りごとの解決に向けて一緒に考えていきます。

【相談事例】・退職後、地域のために何かしたい ・子育ての相談をしたい  
・家族がひきこもっていて心配 ・誰かに話を聞いてほしい

#### CSWの支援活動



#### 担当所管

■ 健康福祉部 健康福祉計画課 地域福祉推進係  
直通電話 03-5722-7062 内線番号 ( 2807 )



## 4 福祉の充実と健康づくりの推進

### エンディングサポート(終活支援)事業・死後事務委任

～人生を自分らしく、安心して最期を迎えるために

予算額:400千円

#### 目的・概要

ひとり暮らしの高齢者のかたなどが、エンディング(終活)に関する不安を解消し、安心して生活を送ることができるように、講演会や相談会を実施します。また、身寄りのないかたなどへの支援に関する死後事務委任等の制度を社会福祉協議会とともに構築します。

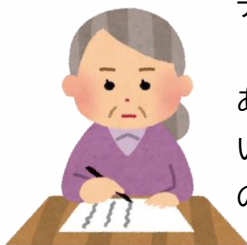
#### 内容

亡くなった後の手続きは、これまでは残された家族が行うことが一般的でした。高齢者の単身世帯が増えていく中で、安心して生活を送るために、ご自身が想う形の人生を設計し、希望を伝えておくことの大切さをお伝えし、支援します。

#### ◆ エンディングサポート(終活支援)事業

人生を自分らしく、安心して最期を迎えられる体制づくりの一つとして、エンディングサポート事業を実施します。

終活に関する講演会・相談会を開催し、病気、認知症など自分にもしものことがあった時、意思が伝えられず、残された家族などが困らないように、伝えておきたいことを書き留めておくエンディングノートの書き方などを解説します。



#### ◆ 死後事務委任の制度構築

身近に頼れる人がいないかた、身寄りがいない高齢者のかたなどを対象に、身元保証や金銭管理などの日常生活支援、入院費・家賃などの清算、葬儀や遺品整理など、死後事務の依頼を生前に受ける事業や支援する仕組みを研究し、制度を構築していきます。

自宅や愛犬の  
今後は心配だわ



#### 担当所管

■ 健康福祉部 健康福祉計画課 地域福祉推進係  
直通電話 03-5722-7062 内線番号 ( 2807 )

## 4 福祉の充実と健康づくりの推進

### ノーリフティングケア推進事業

予算額: 2,425千円

#### 目的・概要

利用者の安全・安心及び介護職員の腰痛予防につながるノーリフティングケア(「持ち上げない」、「抱え上げない」、「引きずらない」ケア)を推進するため、区内民間特別養護老人ホームを対象に、福祉機器の導入経費の一部を助成します。

また、機器の導入に当たり、ノーリフティングケアの理解促進や効果的な使用方法を学ぶための職員研修事業も併せて実施します。

#### 内容

##### 1 福祉機器導入経費の助成

(1)対象:区内民間特別養護老人ホーム

(2)補助対象

高さ調節機能付きベッド、跳ね上げ式車いす、移動・昇降用リフトなど職員の腰痛予防につながる福祉機器

(3)補助額:1施設 上限40万円(補助率1/2)

##### 2 研修事業の実施

現場の職員がノーリフティングケアのメリットや機器の効果的な使い方を学ぶ機会を提供するため、職員向けの研修事業を併せて実施します。



#### 担当所管

■ 健康福祉部 高齢福祉課 高齢者福祉住宅・施設係  
直通電話 03-5722-9843 内線番号(2881)

## 4 福祉の充実と健康づくりの推進

### 高齢者肺炎球菌予防接種における自己負担額の無償化

予算額:17,511千円

#### 目的・概要

東京都の「高齢者肺炎球菌ワクチン定期接種補助事業」にあわせて、区が上乗せして助成し、区民が無料で接種が受けられるよう取り組むことにより、高齢者の肺炎球菌ワクチン定期接種の接種率向上を図ります。

#### 内容

肺炎球菌ワクチンは、肺炎球菌による肺炎の重症化や死亡のリスク低減に有効であり、高齢者の命を守るとともに、医療機関の負担軽減を図る観点からも接種率の向上が望まれます。

令和4年度も接種対象者が無料で接種を受けられるよう東京都の補助事業に区が上乗せして接種費用を助成します。

1 助成費用 一人につき 1,500 円

(実費負担 4,000 円のうち、東京都補助事業により 2,500 円補助)

2 実施期間 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

#### 3 対象者

(1)令和4年度に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳及び100歳となるかた

(2)接種日に60歳～65歳未満で、心臓、腎臓、呼吸器の機能に障害またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有するかた(これらの障害により身体障害者手帳1級及び同程度と判断されるかた)

#### 周知方法

めぐろ区報及びホームページでお知らせします。

3月末に対象者に予診票を送付します。

#### 担当所管

■ 健康推進部 保健予防課 予防接種係

直通電話 03-5722-7047 内線番号 (4106)

## 5 カーボンニュートラルと 持続可能な街づくりへの挑戦

ゼロカーボンシティの実現を目指し、地球温暖化対策をはじめとする環境保全施策の取組を加速します

予算額 63,968 千円

### 目的・概要

令和3年5月に成立した改正地球温暖化対策推進法には、2050年までの脱炭素社会の実現が明記されました。目黒区は、2050年までのゼロカーボンシティの実現を目指し、地域における二酸化炭素排出量及び区有施設における温室効果ガス排出量について、それぞれの段階的な削減目標を設定し、達成に向けた計画的な取組を進めます。

令和4年度は主に以下の取組により、地球温暖化対策をはじめとする環境保全施策の取組を加速します。

### 内容

#### 1 環境基本計画及び地球温暖化対策地域推進計画の一体的な改定(18,932千円)

目黒区基本計画の補助計画である環境基本計画及び地球温暖化対策推進法に基づく地方公共団体実行計画(区域施策編)である地球温暖化対策地域推進計画を一体的に改定し、2050年までのゼロカーボンシティの実現に向け、地球温暖化対策をはじめとする環境保全施策の取組を加速します。

#### 2 ゼロカーボンシティ キック・オフ・イベントの開催(2,244千円)

令和4年度をゼロカーボンシティ初年度と位置付け、地球温暖化がもたらす影響や地球にやさしいライフスタイル等について普及啓発を図るキック・オフ・イベントを開催することにより、区民一人ひとりの自分事としての環境配慮行動を促進します。

#### 3 東京2020大会で使用された燃料電池自動車の導入(992千円)

庁用車の脱炭素化促進に向け、まずは、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会で実際に使用された燃料電池自動車(FCV)1台を導入し、二酸化炭素排出量削減とともに、区民や事業者の意識啓発を図ります。

#### 4 再生可能エネルギー・省エネルギー設備設置費助成(10,120千円)

太陽光発電システム等の再生可能エネルギー設備及び家庭用蓄電システム等の省エネルギー設備の設置費の助成により、二酸化炭素排出量削減とともに、脱炭素社会のライフスタイルの普及促進を目指します。

#### 5 環境配慮型の道路整備(31,680千円)

集中豪雨の要因となるヒートアイランド対策の一環として、遮熱性舗装による道路整備を進めます(1,320㎡)。

#### 担当所管

- |             |       |        |                   |            |
|-------------|-------|--------|-------------------|------------|
| ■ 1 環境清掃部   | 環境保全課 | 環境計画係  | 直通電話 03-5722-9356 | 内線番号(3302) |
| ■ 2～4 環境清掃部 | 環境保全課 | 温暖化対策係 | 直通電話 03-5722-9034 | 内線番号(3304) |
| ■ 5 都市整備部   | 道路公園課 | 補修設計係  | 直通電話 03-5722-9774 | 内線番号(3241) |

## 5 カーボンニュートラルと 持続可能な街づくりへの挑戦

自由が丘駅周辺地区における街づくり活動の支援と都市計画道路整備や道路と鉄道の立体化の検討に取り組みます

予算額:2,787,427 千円

### 目的・概要

自由が丘固有の特徴のある街並みを誘導し、賑わいがあり安全で快適に過ごすことができる暮らしやすく持続可能な街の実現を目指すため、自由が丘駅周辺地区において、公民連携による地域街づくりを推進し、都市計画道路の整備と一体的な沿道周辺街づくり、都市基盤整備の方向性や道路と鉄道の立体化の調査・検討に取り組みます。

### 内容

#### 1 都市計画道路沿道街づくり(予算額:2,754,435 千円)

担当所管:地区整備課・みどり土木政策課

自由が丘駅周辺地区における都市計画道路沿道の地域主体の街づくり活動を支援します。令和4年1月に東京都による組合設立認可を受けた自由が丘一丁目 29 番地区第一種市街地再開発事業における、都市計画道路補助 46 号線の先行拡幅や街角広場、歩行者通路、地域共同荷さばき場、道路の無電柱化等の整備について、補助金による支援を行います。また、都市計画道路補助 127 号線の整備を進めます。



完成イメージパース

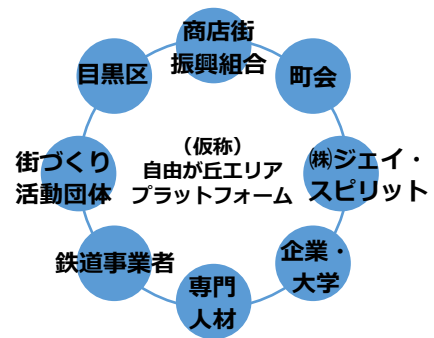
配置図

自由が丘一丁目 29 番地区第一種市街地再開発事業

## 2 公民連携まちづくり活動支援(予算額:9,999 千円)

担当所管:地区整備課

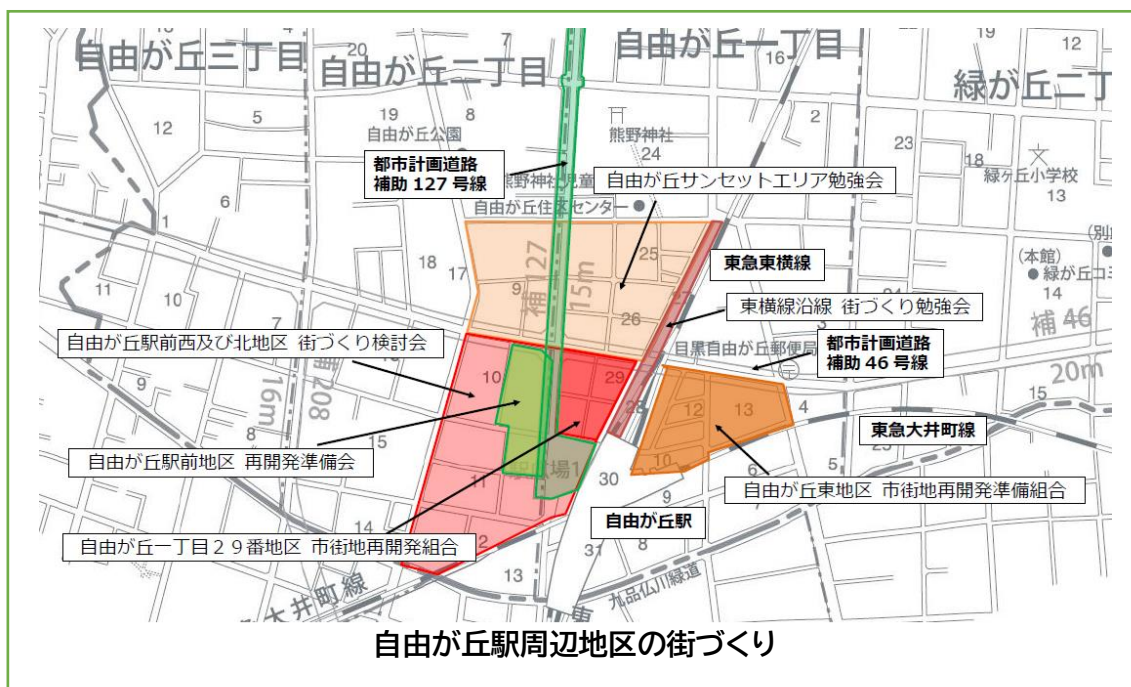
自由が丘駅周辺地区において、地域住民・事業者・地域関係者・エリアマネジメント団体などの多様な人々が連携・協力しながらまちづくりを推進するため、公民連携による組織である「エリアプラットフォーム」を構築し、公民のパブリック空間を連携させた居心地が良く歩きたくなるまちなかの創出による地域の魅力向上に取り組みます。



## 3 鉄道沿線街づくり(予算額:22,993 千円)

担当所管:地区整備課・都市計画課

自由が丘駅周辺地区では、東急東横線の低いガード下や踏切、及び東急大井町線の踏切による地域分断の解消が課題となっていることから、鉄道沿線の街づくり活動と連携し、都市基盤整備の方向性や道路と鉄道の立体化の調査・検討に取り組みます。



自由が丘駅周辺地区の街づくり

### 担当所管

- 街づくり推進部 地区整備課 地区整備係 (自由が丘地区)  
直通電話 03-5722-9430 内線番号 ( 2935 )
- 都市整備部 みどり土木政策課 施設計画係  
直通電話 03-5722-9475 内線番号 ( 3172 )
- 都市整備部 都市計画課 都市計画係  
直通電話 03-5722-9725 内線番号 ( 2913 )

## 5 カーボンニュートラルと 持続可能な街づくりへの挑戦

地域交通の支援を推進します

予算額:44,736千円

### 目的・概要

公民連携により地域の状況に応じた持続可能な利便性の高い交通手段の確保に向けた地域の取組を支援します。

### 内容

目黒区では、移動に関する地域の困りごとを解決する取組に対して支援するため、令和2年6月に策定した「目黒区地域交通の支援方針」に基づき、地域交通の導入に向けて積極的に検討している地域へ、会議運営や実証実験運行に向けた取組を支援します。



### 担当所管

■ 都市整備部 みどり土木政策課 地域交通係  
直通電話 03-5722-9550 内線番号 ( 3174 )

## 5 カーボンニュートラルと 持続可能な街づくりへの挑戦

目黒川の環境改善を総合的に進めていきます

予算額:593,151千円

### 目的・概要

目黒川の環境を改善するため、水質浄化対策、河床整正、河川清掃などを総合的に進めていきます。

### 内容

#### 1 水質改善（予算額:579,207千円）

目黒川の水質浄化対策として、悪臭や白濁化の原因となっている硫化水素の発生を抑制するため、太鼓橋付近の底層部へ高濃度酸素溶解水を供給する高濃度酸素溶解水供給施設の整備工事を令和4年度及び令和5年度で行います。また、流水を滞留させないよう川底を均す工事、川底に溜まった泥土のしゅんせつを行います。水質浄化対策の効果を把握するため水環境モニタリングを実施し、検証します。

#### 2 河川清掃（予算額:13,944千円）

河川の環境を改善するため、河川内の清掃、ユスリカ卵塊駆除を行います。



高濃度酸素溶解水供給施設整備イメージ



目黒川での清掃の様子

### 担当所管

- 1 都市整備部 みどり土木政策課 事業管理係  
直通電話 03-5722-9741 内線番号（ 3161 ）
- 2 都市整備部 道路公園サービス事務所 目黒地域サービス係  
直通電話 03-3711-6825 内線番号（ 6031 ）



## 6 多様性を認め合い持続可能な社会に向けた取組の推進

東京2020オリンピック・パラリンピック大会のレガシーを活用した事業を実施します

予算額:1,922 千円

### 目的・概要

東京2020オリンピック・パラリンピック大会(以下「東京2020大会」という。)の開催や機運醸成事業によって得られた成果をレガシーとして活用し、スポーツ振興に活かすことで、健康の保持増進や障害者スポーツの推進につなげていきます。

### 内容

#### (1)町会・自治会のスポーツ・健康づくり事業への支援

東京 2020 大会を通じて高まっている区民のスポーツ志向を今後も維持・向上させるため、身近な地域コミュニティである町会・自治会が自主的・自発的に行うスポーツ事業に対して助成金を交付し、スポーツ活動の機会・環境を整えることで、区民の健康づくり及びスポーツ振興の推進を図ります。

#### (2)区民交流ポッチャ大会の実施

パラスポーツとして注目され、障害のある方はもとより、子どもから高齢者まで幅広い世代が楽しむことができる「ポッチャ」の区民交流大会を実施します。



#### (3)スポーツ情報紙 縮刷版の作成

東京 2020 大会に関する情報や各種スポーツ関連事業の情報発信をするために平成 28 年度から令和 3 年度まで発行したスポーツ情報紙「めぐろスポーツニュース」を一冊にまとめた縮刷版を発行し、区政情報コーナー等に配置します。

<ポッチャ競技の様子>

### 担当所管

- 文化・スポーツ部 オリンピック・パラリンピック推進課  
直通電話 03-5722-9361 内線番号(3616)
- 文化・スポーツ部 スポーツ振興課 スポーツ事業係  
直通電話 03-5722-9695 内線番号(3614)

## 7 DXの取り組み

### DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進

予算額:357,376千円

#### 目的・概要

行政のDX(デジタル・トランスフォーメーション)化や、庁内データやビッグデータを利活用した客観的な根拠に基づく政策立案の推進に取り組みます。

#### 内容

##### 1 行政のDX(デジタル・トランスフォーメーション)化(予算額:330,953千円)

担当所管:DX戦略課・情報政策課

各種手続のオンライン化に向けた取り組みを進めていくとともに、ICTの活用による行政事務の効率化に取り組みます。

また、これらの取組に当たっては、地方公共団体の住民票や住民税を始めとする住民情報を取り扱う事務処理システムの標準化を進める国の動きにも対応していきます。



##### 2 客観的な根拠に基づく政策立案の推進(予算額:26,423千円)

担当所管:行政情報マネジメント課・政策企画課

客観的な根拠に基づく政策立案(Evidence Based Policy Making)のため、データ利活用分析基盤の構築をし、外部専門家等を活用したデータ利活用の取組を推進します。



#### 担当所管

##### ■ 企画経営部 政策企画課

直通電話 03-5722-9372 内線番号 ( 2108 )

##### ■ 情報政策推進部 行政情報マネジメント課

直通電話 03-5722-9622 内線番号 ( 2051 )

##### ■ 情報政策推進部 情報政策課

直通電話 03-5722-9258 内線番号 ( 2141 )

##### ■ 情報政策推進部 DX戦略課

直通電話 03-5722-9245 内線番号 ( 2148 )

## 7 DXの取り組み

### 案内ロボット・コールセンターの試行導入をします

予算額:10,753千円

#### 目的・概要

総合庁舎窓口業務への案内ロボットの導入及びワンストップサービスを目的とした電話交換業務のコールセンターへの移行に向けた検証を行います。

#### 内容

##### ●案内ロボ

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、人との接触機会を減らすことが求められている中、区民等が多く訪れる総合庁舎において、「案内ロボット」を導入することにより、区民サービスの向上、業務効率化につながるかの検証を行います

##### ●コールセンター

区の代表電話の入電に対して、業務担当課への取次のみを行う「電話交換業務」から、オペレータが直接回答することを可能にする「コールセンター」を導入することにより、区民サービスの向上、業務効率化につながるかの検証を行います。

#### 【現状】

・電話交換手を間に挟まないといけないため、取次時間等が生じ解決まで時間がかかる。



#### 【コールセンター(実証実験中)】

・疑問がコールセンター内で解消されます！(お待たせしません！)

・業務担当課においても電話応対件数減少により、業務が効率化されます



#### 担当所管

■ 総務部 総務課 庁舎管理係

直通電話 03-5722-6107 内線番号 (2282)

# 7 DXの取り組み

## 図書館のシステム環境を充実します

予算額:66,453千円

### 目的・概要

コロナ禍においても、安全に利用できる図書館とするために、新たに閲覧席の予約ができるサービスの導入や、電子図書館と図書館ホームページの改修などをします。

### 内容

コロナ禍でも、より安心・便利に図書館をご利用いただけるように、システムの導入と改修を行うほか、図書館情報システムの機器更新をします。

#### 1 閲覧席予約システム導入

コロナ禍において、閲覧席の利用に制限がある場合でも、公平で安全に図書館を利用できるように、閲覧席を管理するシステムを導入します。一定数の閲覧席がある図書館について、利用したい日や時間に、閲覧席の一部を予約できるようにすることで、混雑する時間帯を避けて利用するなど、利用者の都合に合わせて図書館を利活用できます。

#### 2 電子図書館連携

令和3年7月に導入しためぐろ電子図書館と図書館情報システムを連携して運用します。図書館ホームページからも電子図書館へのログインができるようになるとともに、電子書籍の予約確保等の連絡をメールでお知らせすることができます。また、電子書籍の検索機能を向上させます。

#### 3 図書館ホームページ改修

図書館ホームページのアクセシビリティの向上を図り、より見やすく分かりやすいホームページにします。また、図書館からのお知らせや書誌検索などの機能を強化します。

予算額	図書館情報システム改修等	58,962千円
	図書館情報システム機器更新	7,491千円

### 担当所管

■ 八雲中央図書館 事業計画係

直通電話 03-5701-2795 内線番号 ( 3617 )





## 令和4年度(2022年度)目黒区当初予算案 プレス発表資料

---

■お問い合わせ先

目黒区役所	03-3715-1111(代表)
企画経営部財政課	03-5722-9137(直通)
情報政策推進部広報課	03-5722-9621(直通)